



上三川中学校版「学校と地域の連携推進モデル事業※」

上三川中学校には、学校資源（地域資源）とも言える、立派な梅の木が何本もあります。この梅の木からできる「梅の実」を使って、生徒と地域の方々、そして教職員が力を合わせて梅ジュースを作っています。

梅ジュースは元々、一部の教員が作っていました。その後、学校支援コーディネーターが活動に加わり、余った梅を農産物販売所に売り、梅ジュースを作るための資金の調達を始めました。コロナ禍になってからは加工して瓶ジュースを作り、地域の商店での販売も始めました。活動が継続している理由として、活動資金調達のほかに、「活動が楽しい」という動機が挙げられます。生徒と地域の方々、教職員が一緒になって、そして楽しみながら活動できていることが、長く活動できている理由になっています。

そして、今年度は「本モデル事業」を活用して、市貝町にあります梅の里「観音山協議会」の皆さまと、市貝町企画振興課の藤平係長さんに梅ジュースの作り方を含めた、梅に関するお話を聞く機会を設けていただきました。梅の里には4ha、3000本の梅の木があり、協議会の方をはじめとした地域の方が管理しています。梅の木を「まちづくり」に生かしており、平成25年には農林水産大臣表彰を受賞しています。市貝町の取組は、モデル事業に生かさせていただきました。

梅ジュースは、生徒が部活動等の際に飲むほか、地域の商店で販売しています。学校資源（地域資源）でもある梅を活用した地域学校協働活動は、今後ますます充実していくことでしょう。

※「学校と地域の連携推進モデル事業」

子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育むとともに、子どもの学びを支える環境をつくることを目的とした事業



梅のヘタ取り



梅と氷砂糖の漬け込み



観音山協議会からの聞き取り

上三川中学校地域学校協働活動を支える！！

「学校支援コーディネーター」

生徒と教職員、保護者、地域の方々協働で作る梅ジュースは、上三川中学校の特色ある活動の一つになっており、学校支援コーディネーターが充実させた活動になります。

また、44名の会員が所属する「おやじの会」の活動が活発であり、棚づくりや清掃活動などの環境整備を行っています。

これらの活動の要になっているのが、学校支援コーディネーターです。上三川中学校では、コーディネーター一歴7年の佐藤広子さんと、同1年の河合美由紀さんがボランティアとして、地域学校協働活動の調整等を行っています。

上三川中学校の地域学校協働活動は、他地区の研修で事例発表するなど、充実したものになっています。今後も佐藤さんと河合さんの活躍から、目が離せません。



河合美由紀さん 佐藤広子さん

校内研修を実施しました。

学校と家庭・地域の連携・協働活動を活発化させることを目的とした研修を実施しました。今回の研修は、パネルディスカッションとワークショップの形態で行い、パネリストとして学校支援コーディネーターの佐藤広子さんと、河合美由紀さんが務めました。おもな内容等は次のとおりです。

○講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会
代表理事 廣瀬 隆人氏（元宇都宮大学教授）

○概要

- ・地域の人と生徒が関わることにより、教育活動に好ましい影響がある。
- ・学校支援コーディネーターは、活動を嬉しそうに語っている。やらされ感がない。
- ・梅シロップ作りに、多くの生徒を関わらせることが地域学校協働活動である。
- ・ボランティアに対し、感謝の気持ちを持つことが大切である。



校内研修の様子

頑張る学校・地域！応援プロジェクトに関する問合せ

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL 028-626-3183 E-mail: kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp